

五十通りだより（第1号）

令和6年11月

発行：千代田区道路公園課

現在、区では五十通りの歩道拡幅やバリアフリー化などを目的とした道路整備の検討を進めています。

この度、地域の現状を把握し、地域にとってより良い道路整備とするため、沿道関係者の方々の協力をいただき「五十通り道路整備沿道協議会」を開催しました。

五十通り道路整備沿道協議会は、地域の皆様、区の職員およびオブザーバーで構成され、事務局は環境まちづくり部道路公園課が担当いたします。

このたよりでは、協議会での説明内容および意見交換した内容を地域の皆様に発信していきます。

9月19日に開催した第1回沿道協議会について、
ご報告いたします。



五十通りの現状・整備概要について

資料を用いて、区から五十通りの現状や整備内容について説明しました。

【現状について】

- ・車道幅員に余裕があるが、歩道幅員が狭い。
- ・歩道に段差や急勾配の箇所が多い。
- ・周辺道路の整備が進むなかで、五十通りの老朽化が目立っている。

【主な整備内容について】

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ①歩道の拡幅(2.25m→2.75m) | ②バリアフリー化（急勾配・段差の解消） |
| ③交差点の防護柵・車止めの設置 | ④歩道の修景、保水性ブロック舗装 |
| ⑤車道の打ち換え | ⑥街路灯LED化（環境配慮・省エネ） |
| ⑦街路樹の検討 | |



意見交換内容について

委員の方々と区で五十通りの整備内容について意見交換を行いました。

【主なご意見】

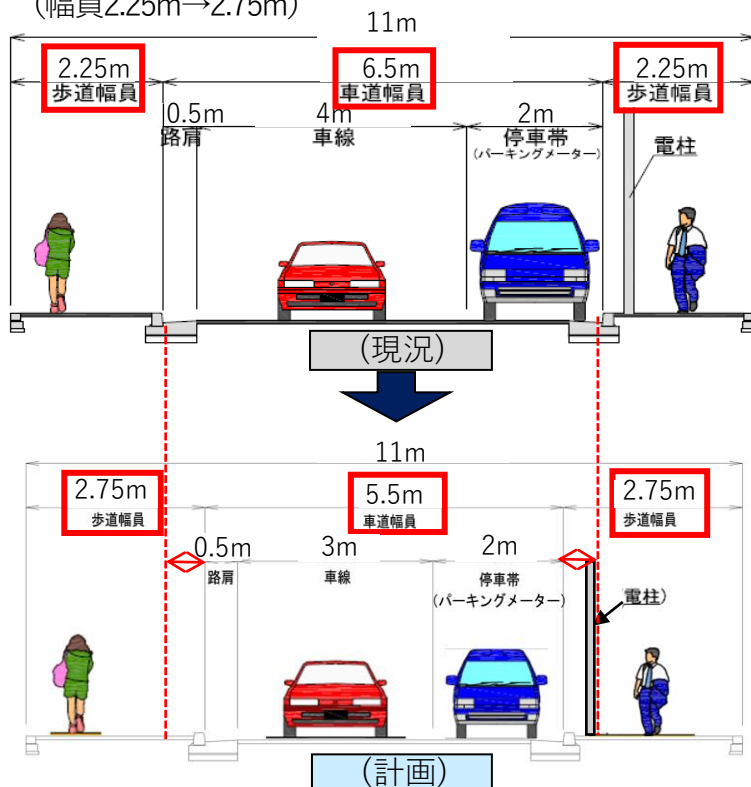
- ・近隣に障害者高齢者施設ができるため、開設までにバリアフリー等の道路整備を完了する必要がある。
- ・電柱が残ると歩道が狭くなるのでは？また、地中化整備までどのくらい時間がかかるのか？
 - ➡ 地中化整備には7～10年かかる。今回は電柱の移設で対応。
まずは、歩道の拡幅・バリアフリー整備を優先。
- ・車道と歩道の境目の盛り上がり（縁石）は必要なのか確認したい。
 - ➡ 道路構造の基準では、歩行者の安全のため必要となっている。
- ・街路樹は小さなものでも新植したい。➡ 次回以降に樹種などについて検討。
- ・車のスピード対策、歩行者の飛び出しや乱横断対策など、交通安全対策も検討してほしい。
 - ➡ 神田警察と協議。

（裏面もご覧ください）

整備イメージ

歩道拡幅イメージ

- 歩道の幅を片側50cmずつ広げます。
(幅員2.25m→2.75m)

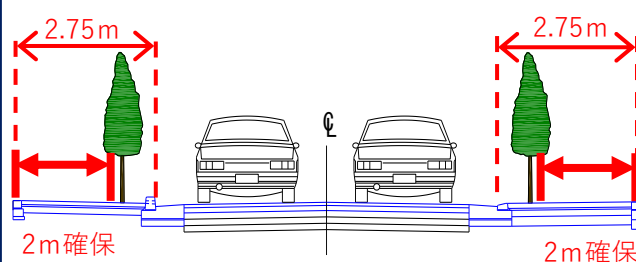


※電柱の移設については、現在協議中です

歩道の整備イメージ



街路樹設置イメージ

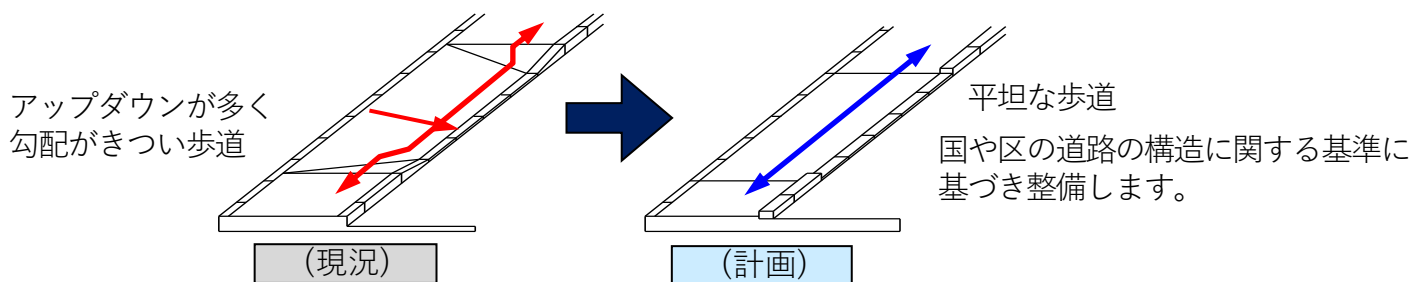


歩道が広がるため、小さな街路樹を植えられるスペースが生まれます。

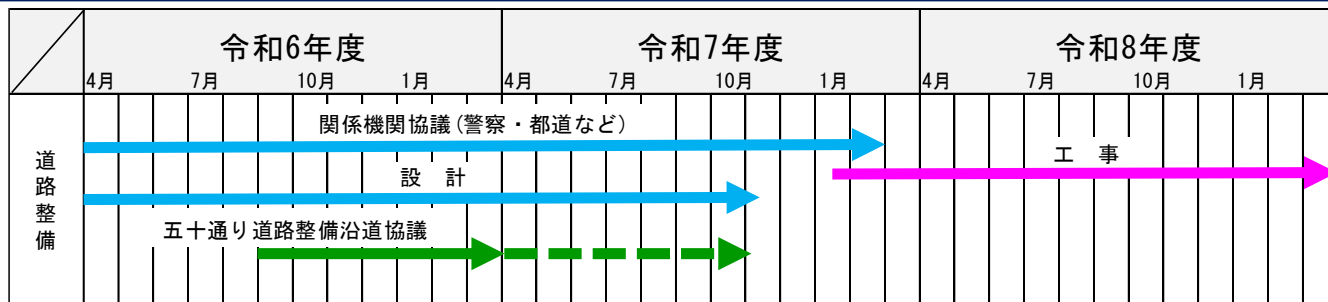
歩道の段差解消イメージ

マウントアップ方式 (現状の歩道)

セミフラット方式 (整備後の歩道)



整備スケジュール (案)



事務局担当

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1

千代田区 環境まちづくり部 道路公園課 計画・設計係

担当者：鈴木、吉村

T E L : 03-5211-4242

F A X : 03-3264-4792

E-mail : dourokouen@city.chiyoda.lg.jp